

経費削減について

1 人件費

- ① 市立函館病院の事務部門（管理部庶務課，経理課を含む）において，委託化，臨時職員・嘱託職員化などの推進により，職員数の削減を図る。
- ② 市立函館恵山病院の医療技術員（検査部門，リハビリ部門）の見直しにより，職員数の削減を図る。

2 委託料

(1) 市立函館病院(H20 予算 = 1,564,916 千円)

対応の基本：分割して発注しているものや類似した業務を統合して発注

- ① 平成20年度見直し実施済み分
 - ・警備業務と駐車場管理業務を統合 通年ベースで約 960万円削減
 - ・感染性廃棄物運搬処理業務の見直し 通年ベースで約1650万円削減
- ② 平成21年度以降の見直しの方向性
 - ・清掃業務，洗濯業務，院内設備保守業務，医療機器保守業務などに関し，分割発注しているものを統合して発注
 - ・SPD業務，患者給食業務，検査業務などに関し，業者提案型のプロポーザル方式を積極的に活用
 - ・上記の業務も含め，院内の各種業務を包括して管理する委託方式の検討を進める。
- ③ 見直し組織の設置
 - ・こうした見直しを着実に進めるため，院内に調度係，施設係など関係部署からなるプロジェクトチームを設置する。

(2) 市立函館恵山病院 (80,362 千円)・市立函館南茅部病院(62,722 千円)

対応の基本：業務内容や契約方法の見直しを行う。

(清掃，警備，検査，医療機器保守，医事，給食)

3 材料費

対応の基本：市場価格等の情報収集・比較検討により，廉価な購入に努める。

① 診療材料

診療材料の下期（10月～3月）購入分の単価契約については，価格削減交渉により，上期に比べ通年ベースで約 2,500 万円の削減が見込まれている。

他病院やコンサル業者などの情報から，削減目標を約 5,000 万円と設定しており，引き続き価格削減交渉を続けていく。

② 医薬品

ジェネリック医薬品の積極採用に努め，今年に入ってから約 100 種類の医薬品を切替え済み。（効果額 1 億円以上）引き続き採用に努める。